総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成26年度）

2．分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　②ライフ・イノベーション分野（8/14）

	評価区分（※）	評価結果（ⅠとⅡとⅢの平均値）	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗に関する評価	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 総合評価	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区（柏市）	正	3.7	3.7 進捗度 地域活動の参加者の増加 105% TEPによる柏市内ベンチャー企業の支援数の増加 100% 特例措置による以下の事業所数 ・訪問リハビリ 167% ・歯科衛生士事務所 100% 等	3.5 規制の特例等 訪問リハビリテーション事業所整備推進事業 歯科衛生士等住宅療養管理指導推進事業 等 地域独自の取組 柏市指定居宅サービス等事業人員設備運営基準等 条例改正 等	3.8	・個々の取組の進捗状況としては順調なものが多く、全体としては優れているが、事業者や住民への説明等において、目標達成のための具体的な対応について検討が必要。 ・CO2排出量が有効に削減されていることや、規制の特例措置の活用により事業所の参加やサービス供給量が増加した点は高く評価できる。 ・「まちづくり」の手段に対する評価ではなく、出来上がった「まち」に対する評価を行うべきである。 ・規制の特例措置による効果は現段階ではまだ限定的であり、今後の更なる進展が期待される。

◆評価書はこちら　　◆評価結果はこちら

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。